

創世記 18章18～19節

アブラハムは必ず、強く大いなる国民となり、地のすべての国民は彼によって祝福される。
わたしがアブラハムを選び出したのは、彼がその子どもたちと後の家族に命じて、彼らが主の道を守り、正義と公正を行うようになるためであり、それによって、主がアブラハムについて約束したことを彼の上に成就するためだ。」

創世記 18章23～26節

アブラハムは近づいて言った。「あなたは本当に、正しい者を悪い者とともに滅ぼし尽くされるのですか。
もしかすると、その町の中に正しい者が五十人いるかもしれません。あなたは本当に彼らを滅ぼし尽くされるのですか。その中にいる五十人の正しい者のために、その町をお赦しにならないのですか。
正しい者を悪い者とともに殺し、そのため正しい者と悪い者が同じようになる、というようなことを、あなたがなすことは絶対にありません。そんなことは絶対にあり得ないことです。全地をさばくお方は、公正を行うべきではありませんか。」
主は言われた。「もしソドムで、わたしが正しい者を五十人、町の中に見つけたら、その人たちのゆえにその町のすべてを赦そう。」

申命記 4章4～10節

しかし、あなたがたの神、主にすがってきたあなたがたはみな、今日生きている。
見なさい。私は、私の神、主が私に命じられたとおりに掟と定めをあなたがたに教えた。あなたがたが入って行き、所有しようとしているその地の真ん中で、そのとおりに行うためである。
これを守り行いなさい。そうすれば、それは諸国の民にあなたがたの知恵と悟りを示すことになり、彼らはこれらすべての掟を聞いて、「この偉大な国民は確かに知恵と悟りのある民だ」と言うであろう。
まことに、私たちの神、主は私たちが呼び求めるとき、いつも近くにおられる。このような神を持つ偉大な国民がどこにあるだろうか。
また、今日私があなたがたの前に与えようとしている、このみおしえのすべてのように正しい掟と定めを持つ偉大な国民が、いったいどこにあるだろうか。
ただ、あなたはよく気をつけ、十分に用心し、あなたが自分の目を見たことを忘れず、一生の間それらがあなたの心から離れることのないようにしなさい。そしてそれらを、あなたの子どもや孫たちに知らせなさい。
あなたがホレブで、あなたの神、主の前に立った日に主は私に言われた。「民をわたしのもとに集めよ。わたしは彼らにわたしのことばを聞かせる。それによって、彼らが地上に生きている日の間わたしを恐れることを学び、また彼らがその子どもたちに教えることができるように。」

申命記 32章1～6節

天よ、耳を傾けよ。私は語ろう。地よ、聞け。私の口のことばを。
私のおしえは雨のように下り、私のことばは露のように滴る。若草の上の小雨のように。青草の上の夕立のように。
まことに私は主の御名を告げ知らせる。栄光を私たちの神に帰せよ。
主は岩。主のみわざは完全。まことに主の道はみな正しい。主は真実な神で偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。
自分の汚れで主との交わりを損なう、主の子らではない、よこしまで曲がった世代。
あなたがたはこのようにして主に恩を返すのか。愚かで知恵のない民よ。主はあなたを造った父ではないか。主はあなたを造り上げ、あなたを堅く立てた方ではないか。

申命記 32章19～20節

主は見て、彼らを突き放された。主の息子と娘たちへの怒りゆえに。
主は言われた。「わたしの顔を彼らから隠し、彼らの終わりがどうなるかを見よう。彼らは、ねじれた世代、真実のない子らであるから。

申命記 32章28～29節

まことに彼らは思慮の欠けた国民、彼らのうちに英知はない。
もしも知恵があったなら、彼らはこれを悟ったであろうに。自分の終わりもわきまえたであろうに。

サムエル記 第二 8章15節

ダビデは全イスラエルを治めた。ダビデはその民のすべてにさばきと正義を行った。

サムエル記 第二 23章3～4節

イスラエルの神は仰せられた。イスラエルの岩は私に語られた。『義をもって人を治める者、神を恐れて治める者。その者は、太陽が昇る朝の光、雲一つない朝の光のようだ。雨の後に、地の若草を照らす光のようだ。』

詩篇 72篇1～2節

神よあなたのさばきを王にあなたの義を王の子に与えてください。
彼が義をもってあなたの民をさばきますように。公正をもってあなたの苦しむ民を。

詩篇 72篇7節

彼の代に正しい者が栄え月がなくなるときまでも豊かな平和がありますように。

詩篇 89篇14節

義と公正はあなたの王座の基。恵みとまことが御前を進みます。

詩篇 7篇9節

どうか悪しき者の悪が後を絶ちあなたが正しい者を堅く立てられますように。正しい神は心の深みまで調べられます。

列王記 第一 2章1～4節

ダビデの死ぬ日が近づいたとき、彼は息子のソロモンに次のように命じた。

「私は世のすべての人が行く道を行こうとしている。あなたは強く、男らしくありなさい。

あなたの神、主への務めを守り、モーセの律法の書に書かれているとおりに、**主の掟と命令と定めとさとしを守って**主の道に歩みなさい。あなたが何をしても、どこへ向かって、栄えるためだ。 *that you may prosper in all that you do*

そうすれば、主は私についてお告げになった約束を果たしてくださるだろう。すなわち『もし、あなたの息子たちが彼らの道を守り、心を尽くし、いのちを尽くして、誠実にわたしの前に歩むなら、あなたには、イスラエルの王座から人が断たれることはない』。 *申29:9*

列王記 第一 10章1～9節

ときに、シェバの女王は、主の御名によるソロモンの名声を聞き、**難問**をもって彼を試そうとしてやって来た。

彼女は非常に大勢の従者を率い、バルサム油と非常に多くの金および宝石をらくだに載せて、エルサレムにやって来た。彼女はソロモンのところに来ると、心にあることをすべて彼に問いかけた。

ソロモンは、彼女のすべての問いに答えた。王が分からなくて、彼女に答えられなかったことは何一つなかった。

シェバの女王は、**ソロモン**のすべての知恵と、彼が建てた宮殿と、

その食卓の料理、列席の家来たち、給仕たちの態度とその服装、献酌官たち、そして彼が主の宮で献げた全焼のささげ物を見て、息も止まるばかりであった。

彼女は王に言った。「私が国であなたの事績とあなたの**知恵**について聞き及んでいたことは、本当でした。

私は自分で来て、自分の目で見るとまでは、そのことを信じなかったのですが、なんと、私にはその半分も知らされていなかったのです。あなたの**知恵**と**繁栄**は、私が聞いていたうわさより、はるかにまさっています。

なんと幸せなことでしょう。あなたにつく人たちは。なんと幸せなことでしょう。いつもあなたの前に立って、あなたの**知恵**を聞くことができる、このあなたの家来たちは。

あなたの神、主がほめたたえられますように。主はあなたを喜び、イスラエルの王座にあなたを就かせられました。主はイスラエルをとしえに愛しておられるので、あなたを王とし、**公正と正義を行わせるのです。**」